

平成27年度土地開発公社決算の概況

第三セクター等の抜本的改革による相当の成果があるものの、引き続き、効率化・経営健全化を図ることが必要

- 市町村における財政リスクを減少させるため、H24年度以降、第三セクター等改革推進債の活用等により9公社が解散。
- 県内の市町村土地開発公社の長期保有土地は減少。
- 公社の借入金に対する市町村の債務保証額は減少。

・解散した公社(※有田市及び有田川町以外は第三セクター等改革推進債を活用して解散)

平成26年度 1公社(有田川町)

平成25年度 5公社(和歌山市、海南市、御坊市、かつらぎ町、九度山町)

平成24年度 3公社(有田市、橋本市、新宮市)

・解散を検討している公社 1公社(白浜町)

・当面存続する公社 6公社(田辺市、紀の川市、岩出市、紀美野町、日高川町、串本町)

■長期保有土地(5年以上)の状況

〈平成27年度末の土地保有の状況〉金額ベース 44億71百万円(対前年度 ▲6.5%、▲3億13百万円)

〈長期保有土地(5年以上)の状況〉金額ベース 31億68百万円(全体に占める割合は70.9%)

■債務保証額の状況

〈平成27年度末の債務保証額の状況〉 10億50百万円(対前年度 ▲21.9%、▲2億95百万円)

〈債務保証がある団体〉

・紀の川市 債務保証額:7億10百万円／標準財政規模:187億99百万円 3.8%

・白浜町 債務保証額:3億40百万円／標準財政規模:71億96百万円 4.7%

平成27年度第三セクター決算の概況

- 市町村から損失補償を受けている法人は2法人。
- 法人が破綻した場合に、市町村に多額の財政負担が発生するため、損失補償の縮小に向けた取り組みを進めることが必要。

□市町村から損失補償を受けている法人

・ 白浜医療福祉財団	損失補償額	3億26百万円（対前年度 ▲66百万円）
・ 白浜観光自動車道	損失補償額	24百万円（対前年度 0百万円）

□経常赤字額の大きい法人

- ・ 那智勝浦冷蔵
経常赤字額 17百万円
(前年度は5百万円の赤字)
- ・ 和歌山スポーツ振興財団
経常赤字額 12百万円
(前年度は29百万円の黒字)
- ・ 和歌山地域地場産業振興センター
経常赤字額 10百万円
(前年度は10百万円の赤字)

□債務超過法人

- ・ 債務超過法人なし

◎第三セクターの状況

年度 \ 区分	法人数	経常黒字法人	経常赤字法人	債務超過法人	損失補償を受けている法人
H27	33	24	9	0	2
H26	33	20	13	0	2
対前年度	0	4	▲4	0	0

※県内市町村の出資割合が25%以上の法人を対象としています。
(複数の地方公共団体の出資割合の合計が25%以上の法人を含みます。)